

# CIEC NEWSLETTER

コンピュータ利用教育学会

No.62 2016/2/8

## お知らせ

- CIEC 春季研究会 2016
- CIEC 20 周年記念事業
- CIEC 会誌『コンピュータ& エデュケーション  
Vol. 40』投稿募集
- 2016PCカンファレンス分科会発表募集

## 報告

- CIEC 外国語教育研究部会 第 8 回学習会報告

## 【CIEC 春季研究会 2016】

日 時:2016年3月26日(土)  
会 場:大学生協杉並会館 B 階  
(東京都杉並区和田 3-30-22)

CIEC 春季研究会は、学びとコンピュータやネットワークの利用に関する教育と研究の報告、討論を行うことで、より品質の高い成果へと結びつけるとともに、様々な分野の方との交流を行うことを主体として開催しております。本研究会で発表される報告は、事前に査読・審査され、「CIEC 研究会報告集 Vol.7」として発行いたします。

ここでは、会員の専門性に対する要望を取り入れながら、会員相互の研究交流を促進する場として、魅力的な研究会づくりを目指しております。あらゆる分野の人々が、学びとコンピュータやネットワーク利用の在り方とその可能性を考え、研究発表や実践事例の成果を聞くとともに議論に参加していただければと考えております。会員のみなさまの積極的な参加をお待ちしております。

## 【CIEC20 周年記念事業】

CIEC は 1996 年に誕生し 20 周年を迎えます。20 年の歩みを総括し学会・教育界に果たした貢献を整理すると共に、次の 10 年への方向性を検討し、問題提起と課題設定を行うことを目的に 20 周年記念事業を開催します。CIEC 会員のみなさまと一緒に 20 周年をお祝いしたいと思います。ぜひご参加下さい。

日 時:2016年3月27日(日)13時~17時

(17時より懇親会)

場 所:内田洋行「東京 ユビキタス協創広場 CANVAS」  
後 援:株式会社内田洋行  
全体テーマ:「教育と学びにおける創造性と多様性」

基調講演:「未来の教育(仮)」

鈴木 寛(慶應義塾大学 教授)

シンポジウム:

「教育と学びにおける創造性と多様性」

パネリスト:

井庭 崇(慶應義塾大学総合政策学部准教授)

山内 祐平(東京大学大学院 情報学環  
学際情報学府 教授)

熊坂 賢次(慶應義塾大学環境情報学部教授  
CIEC 会長理事)

モデレーター:妹尾 堅一郎

(産学連携推進機構理事長 前 CIEC 会長)  
(敬称略)

## 【2016 PC カンファレンス 分科会発表募集】

2016PC CONFERENCE は大阪大学豊中キャンパスに於いて2016年8月10日(水)～12日(金)の3日間開催されます。PCCONFERENCEは、あらゆる分野の人々が、コンピュータを利用した教育や研究の改善や工夫を交流し合うところです。大学、高専、専門学校関係者、小中高校の教員、学生・院生、企業、大学生協職員、様々な分野の方々からの発表を期待しています。教育と研究の区別が判然としないもの(特に大学院教育など)や、専門的研究の手法であっても、教育に参考となるコンピュータ利用に関する論文であれば歓迎します。

今年も応募の中から「優秀な論文(口頭発表・ポスター発表)」に対して表彰をCIEC総会で実施致します。また、「優秀な学生論文」に対する表彰も実施致します。

### 【応募期間】

受付開始:2016年2月22日(月)

締め切り :2016年3月31日(木)

### 【2016PC カンファレンス開催概要】

日時:2016年8月10日(水)11日(木)12日(金)

場所:大阪大学豊中キャンパス

(大阪府豊中市待兼山町)

開催テーマ:「知の協奏と共創」

詳しくは、公式サイトをご参照ください。

<http://www.ciec.or.jp/event/2016/>

## 【CIEC 会誌『コンピュータ&エデュケーション』VOL. 40 投稿募集】

『コンピュータ&エデュケーション』Vol. 40(2016年6月1日発行予定)への投稿募集のご案内を申し上げます。

### 【応募要綱】

本誌は、幅広い分野での教育・研究活動にコンピュータを活用して得られた成果を分野の枠を超えて交流することを目的としています。特にコンピュータやネットワークを活用した教育・研究に関する実践的・具体的な原稿を歓迎します。

原稿執筆にあたっては、分野の異なる会員が参加する横断型の学会であることを念頭に、目的・対象・内容表現の記述について、手法・分野を越えた明瞭さをお願いいたします。

詳しくは、投稿規定執筆要綱をご参照下さい。

[http://www.ciec.or.jp/ce\\_nl/regulations.html](http://www.ciec.or.jp/ce_nl/regulations.html)

[http://www.ciec.or.jp/ce\\_nl/outline.html](http://www.ciec.or.jp/ce_nl/outline.html)

査読過程で、提示される図表に関しては、それらの提示の必要性/適切性および構図や文字の精緻さなどについても考慮されますので、留意してください。また、投稿論文にチェックリストを添えていただくことにしました。会誌をより良いものとするために投稿者の皆さんにも投稿前のチェックをお願いする次第です。

### 【締め切り】

2016年2月末日

### 【問い合わせ・送付先】

〒166-8532

東京都杉並区和田3丁目30番22号 大学生協会館  
CIEC 会誌編集委員会事務局

TEL 03-5307-1195

[e-mail:edit@ciicc.or.jp](mailto:edit@ciicc.or.jp)

# 【CIEC 外国語教育研究部会 第 8 回学習会報告】

テーマ「iBooks Author を使った電子書籍教材作成  
一日ワークショップ」

日 時 2015 年 12 月 20 日(日)

10:00～12:30, 13:30～14:10

会 場 大学生協杉並会館 103・106 会議室  
(東京都杉並区和田 3-30-22)

講 師 Dr. Valerio Luigi Alberizzi(早稲田大学グロー  
バルエデュケーションセンター准教授,Apple  
Distinguished Educator)

参加者 6 名

## ■概要

iBooks Author を前もってインストールしてある Macintosh Laptop や iPad を参加者が持参し、基本的な手法を学ぶ形の集中的な一日ワークショップであった。午前中は基本的な eBook の制作方法の基礎、午後は各自の興味のある外国語教育・学習用 eBook 作成のためのノウハウについてさらに深める研修となった。

## ■当日の流れ(午前)

○10:00-12:30 iBooks Author 入門ワークショップ  
はじめに、主催者挨拶、講師挨拶、参加者の自己紹介があった。

バレリオ先生は、  
日本に 15 年間在  
住され、言語学が  
ご専門の研究者  
である。日本語が  
堪能で、講話もす



べて日本語でなされたので、講義も大変わかりやすく進んでいった。日本語の研究の他、大学では、イタリア語の指導をされており、ご自身で iBooks Author で作成された教材を見本に手順を説明していただいた。イタリア語プログラムのコーディネーターとして就任されたが、当時 ICT を活用した授業は、環境面で恵まれていなかったこともあり、それほど活発には、なされてはいなかった。CD player, テープレコーダーを使う教員が多く、学生の興味、能力にも差があった。そこで、どのようにすれば効率よく学習させることができるかに興味を持ち、教材作成に携わってきた。代表的な教材は、「イタリア語入門」(iBooks Author を使い作成)である。

午前中は、バレリオ先生から、iBooks Author の基本的な操作方法についての指導をいただいた。iBooks

Author を使うと、幅広く、パワフルなマルチメディア教材ができる。汎用性に制限がかかるが、テンプレートに従って作成していくと、簡単な操作でバラエティに富んだ魅力ある作品(教材)を仕上げることができる。標準機能が優れている。以下、ご指導いただいた内容を、簡条書きでまとめてみる。

## ■ iBooks Author で、できる機能

- (1)文字やアイコンのタップ、タッチによってポップアップし、語彙や文法項目の説明や示唆を行う。視覚で説明するギャラリーを設定することができる。
- (2)練習問題をさせ、クラウド経由で教師に提出させることができる。
- (3)ロールプレイ、クロスワードパズル、回答を表示し、自己評価ができる。  
指で、空欄をなぞると正解を提示させることができる。
- (4)フルページを使いページをスワイプさせる。(一つのセクションで有ることが提示できる。)
- (5)地図の利用・・・地図の情報をタップすることにより、ビデオ、画像の情報を提示することができる。地図の中に情報をひとまとめにすることができる。
- (6)透明レイアウトの利用(後で記述)・・・タップで情報を表示させる。

## ■作成の実際1

- (1)マイテンプレートの作成・・・横のテンプレートの方が効率良い。  
テンプレートの中の「料理本」は使える。写真、商品の紹介のテンプレートはきれいにできる傾向がある。
- (2)バックの色・・・白は、見えにくい(ハイライトが強すぎる、目が疲れる。)  
背景は、白よりもグレーが良い。(あるいは、ライトグリーンなどがお勧め。)
- (3)入れたい画像の量などを最初に考えておく。構成段階で、しっかりと計画しておくことが大切である。文法、語彙、背景等何を埋め込むか最初に決めておく。学習者のレベルに合わせた、操作の埋め込み(スクロール、タップ)

## ■作成の実際2 一教材を作る前に構造をきちんと考えなければならない。

- (1)チャプターやセクションは動かすことができる。
  - (2)ページは動かすことができない。ページに埋め込んでしまい、後で違うセクションやチャプターに移動させようとしてもできない。
- ※ セクション単位で作っていくことが効率的である。
- (3)インスペクターの機能

すべての動画などのオブジェクトがインスペクターに格納されている。

図を入れる、⇒インスペクター、グラフィックで色を変える。

### ■作成の実際 3

- (1)アルファの活用＝選択した部分の透明化
- (2)アイコンのカスタマイズ＝ツールバーの空欄部分を右クリック→「ツールバーをカスタマイズ」で、できる。
- (3)スタイルの活用・・・フォントを一部選んで、スタイルの複製をする。  
スタイルの再定義(双六ゲームの例) →レイヤーの概念
- (4)アルファを使って透明部分を作成→カラーをクリック、ドラッグ
- (5)必要な情報や音声の埋め込みはドラッグ&ドロップで
- (6)アンカーの設定、フローティングテキストはおすすめ。
- (7)音声のフォーマットは、mp3 でなくても .m4i でよい。

■レイアウトと操作の二つのメニュー(イメージと音声ボタンを合体させる。)

- (1)理想的な画像のサイズ、150 ピクセルか 150 ピクセル以上
- (2)play 機能を画像にタップで再生の機能にする。
- (3)透明レイヤーの活用、ウィジェット⇒ポップオーバー(ポップオーバーレイ)違和感の無いテキストの高さ 50 point

例 メモリゲーム(神経衰弱)、ウィジェット・メニュー、メディア・ウィジェットの活用

※ 再生等のボタンは、テキストの上に隠せば OK。

- (4)配信方法 iTunes U を使うと効率的。

○12:00-13:30 休憩

### ■当日の流れ(午後)

午後からは、参加者の作成したい教材について、作成のポイントや、効率よく作業を進めるコツをご指導いただいた。

作成する教材として、中学校英語教材の復習教材(ワークブック的なもの)を作成したいという希望があった。講師からは、「活動と練習を埋め込んだ教材を作成してはどうかという提案をいただいた。」

教材の本時の目標:「過去形を使って発表すること」(1年生 Lesson 9)

■ウィジェット(Book Widgets)を使って教材を作る。



iBooks Author は、単体でも機能が充実しており、簡単により教材を作ることができる。しかし、Third Party のソフトを取り入れることでもっと強化できる。代表的な Third Party ソフトとして、Book Widgets を取り上げ、活用方法を指導していただいた。

Book Widgets を使用した教材の例

<https://www.bookwidgets.com/widget-library>

### ■ブックウィジェット(Book Widgets)のできること。

iPad, Mac, Windows, Chromebook & PC Android に対応している。

教師自身で作ったウィジェットを学習者に配信することができる。

- (1)ウェブ上で送る。
- (2)アプリケーションで送る。
- (3)コンテンツの配信、保存、名前を付けて保存、ウェブ上にアップロードすることもできる。
- (4)メールで送ることもできる。
- (5)クラス毎に CVS にまとめることもできる。
- (6)個人の成績も抽出することができる。書き出しも可。
- (7)デジタル教材とウィジェットの連携  
教材に埋め込んで、自動フィードバック  
指導者の共同作業で遠隔作成ができる。
- (8)学習者(学生)が作成した作品の公開(ギャラリーウィジェットの利用)
- (9)キャプションの利用、オンザページウィジェット

### ※ その他

グループでまとめる。学生に解答を送らせるか送らせないかの設定。試験モードの設定。テスト後解答を見せるか、見せないか。スコアを見せる、見せない等も設定できる。パスワードの設定も可能。

### ■その他のアプリの活用例

キーノートの「リンクを付ける」、「マジックムーブ」機能の利用

ドラゴンディクテーションの導入の提案。

### ■講師からのアドバイス(まとめ)

教材の構想をまずしっかり作ること大切。例えば、「こんな教材にする。」というイメージ持つこと。そして、それに加えて、「目標」を何にするかという、明確なアイデア。(目標の具体例:文法、単語(語彙)、背景の理解)

文責:眞崎克彦(明石市立中崎小学校)